

各位

会社名 株式会社ワットマン
代表者名 代表取締役社長 川畑泰史
(コード番号 9927)
お問合せ先 取締役経理 IRグループ長 渡邊匡
(TEL 045-959-1100)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年8月15日に公表しました2022年3月期第2四半期(2022年4月1日~2022年9月30日)の業績予想数値と、本日発表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期業績予想数値と実績値との差異(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,260	140	140	140	64.11
今回実績値(B)	3,427	236	226	171	78.53
増減額(B-A)	167	96	86	31	
増減率(%)	5.2	68.7	62.0	22.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,004	52	49	11	5.17

(注)当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております

2. 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間においては、世界的なインフレ傾向および供給ひっ迫によりリユース市場でのニーズが高まり、リユース事業セグメント売上は既存店、全店ともに前年同期を上回りました。また新品 EC 事業セグメントにおいてもホビー商材に対する旺盛な需要が継続しセグメント売上は当初予想を上回るとともに、PMI 費用も当初予想を下回り業績に貢献しました。

以上の結果、2023年3月期第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の当初の予想数値と実績値に差異が生じました。

なお、2023年3月期の通期業績は、2022年5月16日発表の「2023年3月期の連結業績予想」に対して順調に進捗しており、後述の投資案件の影響を度外視すれば通期業績予想を上回る見込みですが、現在インオーガニック成長戦略の本格化により投資案件の検討が常態化しております。第3四半期会計期間以降の投資の実施時期および影響額が未確定であり、第2四半期末時点では業績予想の修正は行いません。

なお今後業績へ影響を与える事項を決定または事象が発生した場合は直ちに開示を行います。

以上